

教育目標『ふるさとを愛し 自ら考え たくましく生きる児童の育成』

～思いやりのある子・進んで学ぶ子・たくましい子～



# 松小だより

令和7年2月27日(木)

学校通信 第48号

発行 学校長

電話 027-393-1521

※個人情報の取扱にご留意ください。

〈松井田小ホームページ <http://www.annaka.ed.jp/shin-matsuida/>〉

## 第3回 細野小学校との交流学习（最終）

2月18日(火)に、全校児童の交流としては本年度3回目となる両校の交流学习が行われました。10月24日(木)に細野小学校で4年生以上が合唱やマーチングを披露した交流を除くと、全校児童の交流としては11月20日(水)以来となります。今回は自宅から親子でスクール・バスに乗り旧文化財資料室(旧町役場)で下車、本校まで徒歩で登校し、学校統合後と同じ時間設定で朝活動から1校時までを過ごしてみました。細野小学校からは、これまでの交流学习の中で最も多い17/24軒の保護者の皆様が「親子でスクール・バス登校体験」に参加してくださいました。

子供たちの交流は回を重ねるごとに深まったと感じています。全校での交流学习のほか、修学旅行、北毛青少年自然の家での宿泊学習、プラネタリウム学習、合同リコーダー講習会など、学年ごとの行事や学習などでも様々な交流の機会を設定してきました。公式の交流の機会は今回が最後になりますが、今回は細野小学校のたくさんのご家族の方に、本校の様子をご覧いただくことができるとてもありがたかったと感じています。お子様からの話だけでなく、実際にご自身の目で見て確かめることで、不安が少し解消したと話している保護者もいらっしゃいました。学校統合まで残り約1か月となりました……。



## 2024EL/DLぐんま☆Smile Band 特別企画 W fin 写真展 開催決定!



1月28日発行の学校通信 No.44において、上記写真展の企画案を発表いたしました。東日本旅客鉄道株式会社高崎支社様と碓氷峠交流記念財団様との協議が進み、正式に開催の運びとなりましたのでお知らせいたします。保護者の皆様には、すでに碓氷峠交流記念財団様のご厚意により頂戴しました入園割引券とともに左記ちらしを配布済みです。ご家族の皆様と一緒に思い出を振り返り、児童一人一人が希望をもってそれぞれの新たな Stage へと進級、進学していけるようにと願っています。写真の選定につきましては、これまでご家族の皆様から

個人情報保護に関する配慮の申し出がありませんでしたので、当日撮影した写真の中から厳選して展示させていただきます。ご了承ください。桜の花の美しい季節、ぜひご家族皆様でお出かけください。



## Smile Band Final Stage DVD/Blu-ray 購入申込受付中

横川駅並びに碓氷峠鉄道文化むらにおける最終公演の演奏を収録したDVD(Blu-ray)の購入申込を受け付けています。4年生以上の児童保護者様には注文書(封筒)を配布済みです。申込期限は2月末までとなっていますが、多少の期限を過ぎても大丈夫です。現金を入れて、お早めに学校に提出してください。3年生以下の児童保護者様の中で購入希望がありましたら、学校までご連絡をお願いします。現在、収録映像の最終調整中です。もうしばらくお待ちください。

【販売価格 DVD 3,300円 Blu-ray 4,400円】

## 全校朝礼 校長講話(最終)

2月25日(火)に全校朝礼が行われ、校歌斉唱の後、本年度最後となる校長講話を行いました。3学期も残すところ約1か月となり、様々なものが「最後」あるいは「最終」と表現されるようになってきました。そのことはつまり6年生にとっては小学校生活の一つ一つの終わりの瞬間でもあることを意味します。今回は令和6年度最後の朝礼にあたり、「ふるさと」をテーマに、一年間を振り返ってみました。これまでも児童に伝えたお話の内容については、学校通信やホームページ、スライドショーの公開などを通して、ご家族の皆様と私たちの思いを共有してきたつもりです。今回も当日、体育館のスクリーンに投影したスライドを再編集して、本校ホームページに公開しました。3月9日(日)までの限定公開となっています。お時間がありましたら、素晴らしい環境の中でたくましく成長してきたお子様たちの姿をご覧ください。



### 学校教育目標：ふるさとを愛し 自ら考え たくましく生きる児童の育成

本校では、本年度の学校教育目標に「ふるさとを愛し」という言葉を加えました。「ふるさと」とは「生まれ育った場所」ということだけではなく、「心のあるところ」という意味もあるそうです。松井田町で生まれ育った私にとってのふるさとは、懐かしい思い出がたくさん詰まったところ、たくさんの友達と会うことができるところ、自分を成長させてくれたところ、ほかの人に自慢できるところ、思い出すと元気になれるところなどでしょうか。東京で4年間学生生活を送っていた頃には、上野駅から高崎線に乗って群馬に帰省する途中、少しずつ妙義山が大きく見えてくると、自分のふるさとに戻ってきたんだなと感じたものです。そして、家族やふるさとの温かさに触れ、元気を回復して都会へと戻って行きました。本校の子供たちにも、教育活動を通して「ふるさと」の人々とふれあい、そのすばらしさに触れ、生まれ育った身近な地域をよく知り、自分が愛されていることを自覚し、自分のふるさとにいつまでも誇りをもてる人になってほしい・・・そんな願いをもっています。子供たちがやがて学び舎を巣立ち、そしていつか心がくじけそうになった時、いつでも帰ることができる「心のふるさと」を自分自身の中にもっていれば、将来にわたってたくましく生きていくことができるのではないのでしょうか。

ふるさとのたくさんの皆様の温かさに包まれながら、もうすぐ令和6年度の教育活動が幕を閉じようとしています。本年度もたくさんの保護者や地域の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。子供たちにとってのふるさとが、自分の心を元気にしてくれる存在になりますように・・・。

**校内表彰(伝達)** 2/13(木)に校内表彰を行いました。当日に賞状が届いたため、事前に紙面で紹介できなかった表彰を1点お伝えします。おめでとうございます!

No.	大会名等	成績	チーム名
1	富岡市交歓大会男子	準優勝	松井田ミニバス